

紫塚同窓会報

第39号

発行者 増 淵 忠 行
 発行日 平成26年10月30日
 発行所
 栃木県立大田原高等学校
 紫塚同窓会
 印刷所 有限会社光陽社

ごあいさつ

紫塚同窓会 会長 増淵 忠行



6月の紫塚同窓会総会におきまして偉大な先輩車田孝夫会長の後を受け、名誉ある会長の重責を担うことになりました。もとより浅学菲才の身ながら経験豊かな副会長・監事とスクラムを組み、母校

の伝統を守ると共に活性化に尽くしたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

長い間本会を牽引していただきました車田会長、小林、井上、篠崎副会長、後藤監事様に皆様とともに改めて御礼申し上げたいと思います。ご指導ありがとうございました。

私は車田会長の下で9年間、副会長としていろいろ学ばせていただきました。その経験を少しでも生かしたいと思います。紫塚同窓会の目的は会員相互の親睦を深め、母校の教育振興に寄与することです。会員相互の親睦については年次会を通じた活動、つまり横のつながりが主体でした。縦のつながり、地域でのつながりも育てられたいと思っています。伝統行事の十年会は、61回目の今年から8月15日を含む、それ以降の土曜日に変更されました。おかげで卒業10年目の若い会員の参加が目立ったのは大変嬉しいことです。母校の現役応援団の演舞も加わり、活気ある十年会となりました。それとは別に新しい行事も模索しています。母校の教育振興に寄与することは、財政基盤が厳しく思うように支援できていません。検討を加え、年明けの常任理事会には何らかの提案ができればと考えています。定着してきた紫塚同窓会本部のfacebookやホームページを通してのご案内致します。是非ご覧ください。各支部情報も積極的に掲載致します。情報をお寄せください。会報も横書きと改めました。

最後になりますが、今春着任された植木校長先生、志賀教頭先生はじめ事務局の皆様には大変お世話になっております。この場をお借りし、心から感謝申し上げます。

皆様のご健勝と、各支部の益々のご発展をご祈念申し上げ、ごあいさつと致します。

初代校長「尾河鐵太郎先生」のお顔 ～吉田松陰の士規七則～

大田原高等学校長 植木 洋一



短髪、秀でた額、太めの眉、丸いレンズの眼鏡、大きめの鼻とお口の童顔。尾河鐵太郎校長先生の写真です。立派なダブルのスーツを着ていらっしゃいますが、風貌から受ける印象は、まさに「質素

堅実」、飾らない誠実なお人柄を感じます。

先生の故郷は兵庫県丹波篠山で、後の東京高師理化学科を卒業され、滋賀県などで教鞭を執り、明治35年、本校の校長として赴任されました。この消息について人見伝蔵氏は「島根県の師範学校の教頭をしておられましたのですがここへお見えになりました」と70年誌に書いています。同じく「先生がはじめて大田原にお出でになりました…岩井屋の楼上で先生にお眼にかかりました…」という記述があります。尾河先生は、大田原の下町にあった岩井屋に投宿され、開校準備に取りかかったのです。

さて、校訓についてです。70年誌に「皆様もご承知の通りに吉田松陰の例の有名な「士規七則」というものを基調にして常に『質素堅実』ということを目指して来ているのは、これは皆先生の所謂人格教育ということから出ているのではないかと私は強く信じておるのであります。」と紹介されています。松陰の「士規七則」が基調とありますが、「質素堅実」の熟語がそのまま出てくるわけではありません。関係するのは七則の四番目です。「士道は質実欺かざるを以て要と為し、巧詐（こうさ）文過（ぶんか）を以て恥と為す。光明正大、皆な是に由りて出づ。」とあります。

質素堅実は「士道」をその基盤にし「巧詐」（たくみにいつわる）「文過」（過剰にうわべを飾る）を恥とし、「光明正大」を徳とする姿勢です。現代の社会状況や精神生活に照らし、自分自身の生活を省みるに、質素堅実の志向する生き方は真に厳しい。校長室で尾河先生のお顔を拝見し、生徒に向き合うときの心構えを新たにしております。

（注）韓非子に「巧詐（こうさ）は拙誠（せつせい）に如かず」とあるのは、「たくみにいつわるのは、つたなくとも誠実であるのに及ばない」の意味です。

2013・14 事業報告

第60回十年会

日時:平成25(2013)年8月15日(木)
会場:KATSUTAYA(カッタヤ)
参加者:高5, 15, 25, 35, 45, 55回会員
車田会長・学校長以下役員、教職員

- 恒例の十年会が開催される。全体会参加者総数は132名を数えた。感想文等は後述。

第2回正副会長監事会

日時:平成25(2013)年12月11日(水)
会場:大高小会議室
参加者:車田会長以下役員、担当教職員

- 役員改選期にあたり、各年次に代表常任理事・常任理事・理事を確認することが提案される。また代表常任理事の位置づけが不明確なので、会則に記載する方向で検討することになる。

第3回正副会長監事会

日時:平成26(2014)年1月29日(水)
会場:大高小会議室
参加者:車田会長以下役員、担当教職員

- 会則を改正して代表常任理事を明文化することや、財務状況・十年会の実施時期について検討する。車田会長は退任の意向であり、次期会長候補として増淵副会長を常任理事会に提案することが決まる。

第4回正副会長監事会

日時:平成26(2014)年2月18日(火)
会場:大高小会議室
参加者:車田会長以下役員、担当教職員

- 常任理事会での協議事項について前回に続いて検討する。

常任理事会

日時:平成26(2014)年2月26日(水)
会場:大高会議室
参加者:車田会長以下役員、常任理事61名
寺内校長、他2名

- 平成25年度事業報告、一般会計・特別会計中間報告は承認された。平成26年度事業に関しては、従来通りの事業について審議したが、次の点が変更された。①十年会の開催日が「8月15日

含めた、8月15日以降の土曜日」とする。平成26年度は8月16日(土)となる。②会報の発行日を、従来の6月20日から10月発行に繰り下げる。③紙ベースの会報発行部数を抑える方策を検討する。

- 平成26年度予算は、現実を見据えた予算とすべく、総会までに検討することになった。
- 会則第8条・第15条に代表常任理事を明文化すること、慶弔規定の特別会員の転退職餞別を「在職年数にかかわらず5,000円」とすることが承認された。
- 新役員については、増淵会長候補以下、本部提案の役員が常任理事会の推薦候補者として決議された。

第66回同窓会入会式

日時:平成26(2014)年2月28日(金)
会場:大高体育館
参加者:車田会長、増淵副会長、生徒、教職員

- 卒業式を控えて同窓会入会式が行われ、同窓会長が式辞を述べた。新入会員は235名、卒業生の総数は27,783名となった。卒業記念品として同窓会から卒業証書ホルダーが授与された。

同窓会打合せ

日時:平成26(2014)年4月4日(金)
会場:ニュー美樹
参加者:増淵副会長以下新役員候補者

- 常任理事会で推薦された新役員候補者の初顔合わせを行う。

第112回創立記念式典

日時:平成26(2014)年4月18日(金)
会場:大高体育館
参加者:車田会長以下役員、会員
生徒、教職員

- 記念式典後、小林高行氏(高21回、宇都宮東武百貨店社長)が記念講演を行う。演題は「私の百貨店マンとしてのプロフィールと勝ち残る百貨店戦略」で、ご自身の入社以来の職歴プロフィール・営業戦略を中心に、熱心に話された。最後にしめくりとして「親切な人に、クリエイティブな人になろう。あらゆる事にチャレンジしていく人材が求められている」と生徒を鼓舞してくれ、生徒も充分感じ入っていた。
- 午後は会場を那須野が原ハーモニーホールに移して芸術鑑賞となる。世界的なサクソ演奏者であるMALTAさんのスペシャルライブがとりおこなわれ、世界トップクラスの演奏と、年齢

を感じさせないMALTAさんの楽しいトークに会場は大歓声に包まれた。

監査

日時：平成26(2014)年5月8日(木)
会場：大高小会議室
参加者：

- 後藤秀雄・伊藤和夫監事が監査を実施する。特に懸案事項もなく終了する。

十年会第1回準備会

日時：平成26(2014)年5月23日(金)
場所：大高会議室
参加者：車田会長、篠崎担当副会長、増淵副会長、担当年次理事、教職員等

- 例年の如く総会・懇親会の進行役を高26回とすることが決まる。十年会の会費を6,000円とすることも了承された。

第1回正副会長監事会

日時：平成26(2014)年5月28日(水)
場所：大高小会議室
参加者：車田会長以下役員、担当教職員

- 総会進行について検討する。

総会・懇親会

日時：平成26(2014)年6月7日(土)
場所：大田原温泉ホテル龍城苑
参加者：車田会長以下役員、会員、植木校長以下教職員

- 午後3時からの総会には93名、その後の懇親会には79名の参加があった。詳細は後述。

第2回正副会長監事会

日時：平成26(2014)年7月11日(金)
場所：志ぶ家
参加者：車田前会長、植木校長・志賀教頭、増淵会長以下新役員

- 植木新校長、志賀新教頭の歓迎会を兼ねて開催。常任理事会・総会で指摘のあった懸案事項について協議する。
- 新役員が総会で正式に決定してから初めての会合であり、役員役割分担が決定した。
- 常任理事・理事の行事参加を促すために、今年度以降、常任理事会・総会への出席年次を会報に掲載することになった。

- 十年会後の行事は常任理事会のみで、かなり間隔があいてしまうので、あまり堅苦しくない講演会等を開いて、その後懇親会等を実施してはとの提案があり、検討することになった。
- 会報についても大幅刷新の提案があった。
- 応援用メガホン購入の補助をすることになった。また朝日新聞からの取材依頼について協議した。

十年会第2回準備会

日時：平成26(2014)年7月25日(金)
場所：大高会議室
参加者：増淵会長、福田・禎担当副会長、担当年次理事、教職員等

- 十年会の進め方等について審議する。

第61回十年会

日時：平成26(2014)年8月16日(土)
場所：KATSUTAYA(カツタヤ)
参加者：高6, 16, 26, 36, 46, 56回会員
増淵会長・学校長以下役員、教職員

- 全体会参加者総数は120名。特に応援団の演舞が好評であった。感想文等は後述。

十年会反省会

日時：平成26(2014)年8月20日(水)
場所：大高小会議室
参加者：増淵会長、担当副会長等、担当教職員

- 準備会(出席のなかった年次への対応策)、会場(市街地から離れている)、会費、配付資料、記念撮影の方法、送迎車、応援団の演舞等について、次年度以降の改善点を協議した。

会報編集打合せ

日時：平成26(2014)年8月27日(水)
場所：大高小会議室
参加者：増淵会長、担当副会長等、担当教職員

- 会報の全体構成、会報中の協賛広告の件で前担当者の増淵会長と、新担当者・担当教職員とで打合せを行う。

第3回正副会長監事会

日時：平成26(2014)年9月5日(金)
場所：ニュー美樹
参加者：増淵会長以下役員

- 財政基盤の充実や秋に実施予定の新事業について協議する。

第60回十年会

第60回十年会に寄せて

青柳 學(高5回)

昭和28年3月(1953)に大高を卒業して60年がたち、この記念すべき第60回十年会に参加したことは、大変意義深いものがありました。

当日は、私たちの同期生25名が参加し、普通科が17名、商業科が8名でした。卒業して初めて参加した人や毎回参加の人などさまざまですが、お互い名札と顔を見比べながら感激の再会をしました。

全体会では、車田同窓会長・寺内学校長の挨拶にはじまり、続いて私たち同期生を代表して、浜松から駆け付けた三森 隆氏の威勢のいい乾杯の音頭で、会是一段と盛り上がりました。最後に校歌斉唱「若き生命」を久しぶりに大声で歌い感動した次第です。昨年までは「旭光あまねく」の旧校歌と一緒に斉唱したそうですが、私達は、戦後昭和22年の教育改革により六・三・三制がスタートし、高校も新教育制度のもと全員1年生より現在の校歌の下で学びました。したがって「旭光あまねく」の校歌は知らないで卒業した最初の学年でもあります。

同期会では、市内の料亭「片岡屋」(普通科)と「志ぶ家」(商業科)に分かれて行きました。十年会は最後ですが、これで会を終わりにするのはさみしい限りなので、新たな組織をつくりやっいていこうということになり、会長、事務局を選出して、再開の地ならしを行いました。

私達の学年は趣味を生かしたり、健康増進のため、毎年次のようなことをやっています。

一つには、ゴルフ愛好会と称して年に1~2回、1泊2日で楽しんでいます。

二つには、ハイキングの会があり、年1~2回1泊で実施しています。

いずれの会も毎回10名前後の参加者がありますが、希望者は誰でも参加できます。またの同期会での再会が楽しみです。

十年会ありがたく

桜岡 充(高15回)

我々、高15回卒業生は、第二次大戦の敗色も濃い昭和19、20年生れですので、今年が大高卒業後半世紀になります。私は最近までここ栃木を離れておりましたが、仕事を一応終えることにして郷里大田原に帰って来ることができました。すると、そこには郷里に残ってそこを護り発展させて

日時:平成25(2013)年8月15日(木)

会場:KATSUTAYA(カツタヤ)

参加者:高5, 15, 25, 35, 45, 55回会員

車田会長・学校長以下役員、教職員



【万歳三唱】



【歓談しあう!】

呉れたありがたい級友がおって、彼らも少々クタクタビレてはおりましたが温かく迎えてくれたのでした。まだまだ元気で、少々ナマ臭さ残っているとは言えど、彼ら70歳間近。焼香にと訪れた亡き級友の仏前で、懐かしい別の旧友と偶然会ったりする心からは喜べない幸運もありました。そんなとき、この十年会開催の案内を頂きました。別れ歌の歌詞のごと、遠くない将来に散り別れ逝くやも知れぬ年齢の友たち。本格的に共に酔い痴れ楽しめる最後の宴の一つになるやも?と思ひ至り、何人かの友も誘い参加させて頂きました。大高関係者の方々、そして、同窓会執行部の方々、ありがとうございます。本当に佳い時間を過ごさせて頂きました。衷心より感謝申し上げます。

然るに、卒業年次にご担任頂いた恩師・松本先生、今野先生、野崎先生、柴野先生、丸山先生、大嶋先生のうち、柴野芳勇、丸山 弘両先生を除いて既に他界されておいでであったのは悲しい話題でありました。残念であります。子が親を思うがごとく、教え子は可愛がって下さった恩師はいつまでも元気でおられて遠くより見護ってくださっていると勘違いしておるようです。ご存命の両先生も諸般の事情にて御臨席を賜れませんでした。ご健康、ご長寿を心より祈念致す処であります。

最後に、同級生諸氏諸君!十年後の再集合までお元気で。

十年会に参加して

飯島 秀人(高25回)

平成25年8月15日、大高紫塚同窓会十年会が市内結婚式場で開催されました。私たち高25回卒にとっては4回目の十年会となります。実は準備会の席上において、前回の出席者名簿を見て、自分が前回も出席したことを確認し、前回の様子を思い出そうとしましたが、当時のことは全く思い出すことが出来ませんでした。皆様がそうであるように公私ともに多用で、しかもPTA役員当時の記憶と重なり合っているせいもあるのかな、と思います。今回の参加者も約20名と想像したほど多くありませんでしたが、現役時代(子育ては終わったでしょうが)としては致し方ないのかな、と思います。

現在、私たちは同級生単位で、定期・不定期(2年間担任であった河又恭一先生に因み「恭一会」として開催)に食事会をしています。時には仙台や東京・千葉あたりからも都合をつけて参加する方もいます。そういった機会に普段付き合いの薄れた同級生の現況を耳にしたりしています。特に気になるのは健康(病気)についての話題になってしまいます。年のせいか大病を患った方もぼちぼち出てきています。(知る限りでは皆さん全快しています。)。体と懐に気をつけながら細く長く続けていこうと思っています。

結びに、今回の十年会の開催にご尽力いただいた同窓会役員の皆様及び事務局の先生方に感謝申し上げます、会報の原稿といたします。

あれから30年

渡辺 和栄(高35回)

今年の十年会には、31名の仲間が集まってくれました。50歳を目前に人恋しき年頃になったのでしょうか。今回もご出席いただいた今井 功先生は、お年が70歳を過ぎているとは思えないほどパワーアップし、習い事にも挑戦しているとのこと。先生の「学ぶ」姿を拝見し、同期一同が日頃の不摂生を恥じて、若さの秘訣を教えていただきました。

会が始まり30年前の思い出や近況報告で話が弾んできたところで全体会が終了。集合写真が手元に届いたときには卒業アルバムを開きながら当時の若かりし日々を振り返ることを今から心待ちにしています。

場所を移しての同期会には、全体会に参加できなかった仲間も駆けつけてくれました。ありがたいことです。その上、1年7組担任の刑部 節先生にもご出席いただき、今井先生とは対照的な若

さ(童顔?)は、まだまだ健在でした。

思い起こせば、大高を卒業した昭和58年は、平均視聴率が50%超の「おしん」放送が始まり、東京ディズニーランドが開園。ファミコンが発売されたのもこの年でした。

あれから30年。大高の名物行事となった85キロ強歩は今年で28回を数え、残念ながら私たちは参加の経験がありません。幸運にも休憩所で生徒たちをサポートする機会に恵まれ、昼夜を通して歩き続ける忍耐力と友を労わる心、気力を振り絞ってゴールを目指し、自分との闘いに勝つ姿を目の当たりにして、「大高健児ここにあり」と実感することができました。

次回は定年後の心配をする頃になるのでしょうか。人恋しくなる仲間が多くなることを期待して十年後を待ちたいと思います。

最後に、準備等に尽力いただいた諸先生方、同窓会役員、準備委員の皆様へ深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

10年後にまた逢おう

原 卓寛(高55回)

大高を卒業し、10年という年月が過ぎた。私達は、大高を卒業するときに夢を語り、希望を持ってそれぞれの道に一步を踏み出した。10年後の今、同期は何を想うだろう。自分で思い描いた人生を送っているだろうか。そんなことを考えながら私は会場に向かった。会場に入ると、「久しぶり」の言葉が、至る所で飛び交い、5回卒の大先輩から55回卒の私達まで、とても幅広い年代の方達が集まっていた。正直、私達55回卒の参加人数だけが非常に少なく、残念な点ではあった。しかし、懐かしい顔と10年ぶりに再会すると、プライベートの話や最近の仕事の話で盛り上がり、時間の流れがとても早く感じられた。

また、恩師の神島仁誓先生にお会いすることができ、改めて記憶が蘇ると共に、当時と変わらぬお姿を拝見して喜びを感じていた。私自身、何と言っても神島先生の代名詞であるあの美しい声を聞くことができて、大高での集会の場面を思い出し、ついにはかんでしまった。私は、神島先生の授業を受けたことがなかったので、高校時代に受けていた同期を羨ましいと思った。

最後に、十年会のしめくくりとして校歌を歌う先輩の姿を見て、母校への熱い想いを感じた。その想いを、私達が受け継ぎ、次の世代へ繋げていかなければならないと、気持ちを新たにした。10年後は、参加者が増えて、盛大な十年会になることを願っている。

第61回十年会

最後の十年会に参加して

安在 隆芳(高6回)

8月16日大田原市「勝田屋」において十年会が開催され、私たち高6回卒業生17名が参加し、楽しい懐かしい一時を過ごしました。第6回卒業生は、目前に傘寿を控えて髪の毛の白い者や薄い者といろいろですが、なぜか悟ったように孫や年金や健康の話ではなく、もっともっと大局をとらえた「アベノミクス論」や「人口問題」「原発」と、歳の割には最も身近な話に終始し、なかなか歳はとれそうにないと感じたものでした。

参加者の中には今でも現役で活躍している者も何人かいますが、健康保持対策は、殆どの者がゴルフを卒業して散歩に夢中な様子で、ゴルフはパーティを組むので煩わしい、むしろ一人で自然の中へ入って新しい思索や楽しみ、煩わしさのない思索がよいそうです。

ところで会場の雰囲気は、乾杯後は喧々囂々グラスを片手に、皆さんあちこちで立ったまま楽しく歓談。全く垣根のない、あけっぴろげの集団。笑顔が絶えない素晴らしい時を過ごしました。大高応援団を拝見したのは初めてでした。以前にはハーモニーホールで吹奏楽部の演奏も鑑賞しました。いずれも時代の変化、若者のニーズ、そしてそれらを受け容れられる態勢があるところに、時代の変遷を感じたものでした。

最後に我々高6回は、これが最後でなく、自主的にこの会を永続的に開催することを約束して散会しました。

大高十年会に参加して

三九会代表世話人 藤田 宏和(高16回)

私たちが大高を卒業したのが昭和39年3月(東京オリンピックの年)でありますから、今年で半世紀ちょうど50年目となります。

この節目の平成26年大高十年会には、関東各地から30名の同級生が参加し、旧交を温めたことはもちろん、後輩たちの素晴らしい応援団の演舞に往時を偲び、何故か東野鉄道大高前駅から正門までの畑中を通る垣根の通路を思い起こしたところでもあります。

その後の同期会は、会場を市内のスナックに移動したにもかかわらず、29名の参加者(同期会のみ参加者2名)となり、大いに盛り上がり再会を約して、22:30散会となりました。特に卒業後初めて参加された方が3名もおり、最後までお付き

日時:平成26(2014)年8月16日(土)

会場:KATSUTAYA(カッタヤ)

参加者:高6, 16, 26, 36, 46, 56回会員

車田会長・学校長以下役員、教職員



合いただきましたことに感謝申し上げます。

加えて、この節目の年に同級生の増淵忠行君が大高同窓会長に就任されたことはご同慶の至りであり、今回の参加者の増加につながったことは想像に難くないものと思われます。今後の活躍をご期待するものであります。

さて私たち同級生は昭和39年卒業ということから、名称『三九会(さんきゅうかい)』なるものを組織し、毎年の例会は3月9日、親善ゴルフは9月3日と定め、親交を暖めております。

毎年例会の出席者が27,8名(一番多い時で39名)、親善ゴルフには10名前後(一番多い時で17名)と年々減少傾向にあります。

その要因としては、まだ現職で働いている方が2割ほどいる一方で、体調不良を理由に欠席される方が1割、残りが個人的な都合で欠席となっております。また残念ながら、毎年複数の逝去者がおられることも現実であります。私たちの年代は十年会への参加も、残すところあと一度となりました。

10年後の再会を夢見て、「いつまでたっても同級生」の三九会活動を是非とも続けていければと念じております。



【校旗に見守られて】



【高6回の方々と同窓会役員】

4回目の十年会

川上 明男(高26回)

今回の十年会は我々にとって4回目の十年会であった。当日は停滞する前線の影響で、朝から雨模様であった。全国各地で大雨の被害が続き、気象予報士でもある私にとって大変気がかりな一日であった。

開会の20分前に到着して受付を済ませて周囲を見ると、懐かしい笑顔があちこちに見られた。定刻の午後3時に開会し、弟の同級生である植木校長が今年の野球部の活躍を話したが、我々の時も好投手印南君の力投で春は準優勝、夏はベスト4まで勝ち進んだことを思い出した。

やがて今回のハイライトといってもいい応援団の演舞が始まった。実際に見るのは初めてで、一糸乱れぬ演舞に感動し、会場に鳴り響く大太鼓の迫力に圧倒された。この会場ではなく甲子園のスタンドで一日も早く見たいものだ、強く思わずにはおれなかった。

ますます酒量も進み会話も弾んだ。若くして病気に倒れた仲間を偲んでしみりしたり、現在闘病中の友にエールを送ったりもしたが、皆よく飲みよく食べよく笑うこと。本当に元気だ。見ているだけで私も元気をもらい、有難いことだ。このような素晴らしい仲間と一緒に過ごした大高時代の3年間は、私にとって誇りであり財産でもある。感謝の気持ちで一杯だ。

その後各年次毎に記念撮影をして午後5時30分に終了した。同期会にも半数以上が出席し、ここから参加してくる者もいた。

こんな素晴らしい十年会も我々の学年はあと2回で終わりとなる。できるなら3回でも4回でも出席したいと思った。次回は一人でも多くの仲間の出席を期待したいものだ。

最後に、最近発足した宮城支部の事務局長として鈴木哲君が頑張っている。近くに住んでいる方の連絡を待っているようだ。

大高のますますの発展を祈っております。十年後に元気でお会いしましょう！

10人での十年会

藤田 達也(高46回)

8月16日、久しぶりに誰に会えるだろうと思い、子どものようにわくわくしながら会場へ向かいました。受付を済ませ、懐かしい顔ぶれを見て、ようやく心が落ち着くと懐かしさがこみ上げてきました。会場では神島仁誓先生をはじめ、伊藤和夫先生や須田耕永先生など、お世話になった先生方にも出席していただき、大変ありがたく感じました。思い出談義に花が咲き、今日まで生きてきた半分以上前、つまり20年も前のことを思い出しながら、みんな話が尽きる様子はまったくありませんでした。教室の中の話題になると、学生服に身を包むと黒かったなあ、体育の時に着替えると青かったなあ、あの当時の色合いも浮かんできました。

そんな中、今何してる？という話題が中心となりました。大田原高校発の同級生が、社会でどのような役割を担っているのか、お互いの情報を交換しました。外国からのサイバー攻撃から企業を守っている人、生命の始まりを探る研究をしている人、安全な生活が営めるように放射能と戦う人など、様々な分野で活躍しているのがわかりました。お互いの立場で共通なのは、組織の中で「ミドルリーダー」としてがんばっているということです。我々の年齢はちょうど、責任ある仕事の盛りなのでしょう。だからこそ、みんな忙しいために、10人だけの参加となってしまったのかもしれないとも思いました。

10年後、もっと同級生と声をかけ合って、さらに盛大な十年会にしようと思います。また、このような機会をもうけてくれた事務局に大変感謝いたします。そして、10年後、またよろしく願いたします。

10人での十年会

渡部 和幸(高56回)

暑気中にふと訪れた涼を感じる日、去る8月16日に十年会が行われました。大高を卒業してはや十年、期間の長短は知れず、級友との久々の、そして十年会に初参加する56回生として、再会に幾ばくかの期待と緊張とを感じずにはられませんでした。

果たして再会してみれば、そこにはかつて机を並べた輩の面影を十分に残した仲間がいました。十年という年月が巻き戻って、母校に帰ってきたという気持ちが襲ってきます。姿勢が変われども大高卒業生というエスプリが、そのような気持ちを起こさせたのでしょうか。

56回生は恩師に伊藤和夫先生と高戸和宏先生がいらっしゃいました。お変わりない健康な姿に、これもまた懐かしさに感慨を禁じ得ません。懐かしき級友と先生とに囲まれると、文武両道に精を出した学校生活が思い起こされます。

さて十年会は大高の近況報告が行われ、各部活動の報告があり、さらに応援団の演技披露もあり、現役生の頑張りに胸が熱くなる思いでした。いくら身綺麗にしようとも、大高生の青春は汗臭さと男臭さの中にあったのだなと感じます。共学の増えて久しい昨今、男子校という文化がもたらすものの強さ、確かさというものにふと思いを馳せました。

十年という月日に話題は尽きず、十年会が終わると、それぞれの回ごとに二次会へ。話は高校生だった頃の話と、現在の状況の話とを行ったり来たりし、やがて過去と現在の混淆は消え失せ、自分が大高生だった頃のことが思い出として立ち上がってきました。懐かしさを懐かしさとして受け止めて、初めて十年会というものの意義を感じたように思います。

卒業生の数に対して、十年会参加者は決して多いとは言えません。その傾向は若いほど顕著です。十年後に、「20年ぶり」と挨拶する級友の姿が、その時の感動が、今から楽しみです。

スナック 美 樹

大田原市中央1-11-8
TEL 0287-22-6613

増 淵 忠 行

(高16回)
大田原市若草1-114
TEL 0287-24-0287

(有)ナルミヤスポーツ

成 宮 正 人 (高44回)
大田原市中央2丁目16番地15号
TEL (0287) 23-6668
FAX (0287) 23-6437

首都圏 紫塚同窓東京会

会 長 大 島 栄 寿(高6回)

事務局〒104-0061
東京都中央区銀座8-10-15 大町商事(株)内
TEL 03-3571-1737 FAX 03-3571-1736
Home page <http://www2.ocn.ne.jp/~purple/>
【新規会員登録大歓迎】ホームページからお願いします

吉 成 歯 科 医 院

吉 成 慶 司 (高23回)

〒324-0234 大田原市前田145
TEL 0287-54-2600

北関東36不動尊霊場第24番札所
下野観音霊場第9番札所

真言宗智山派 龍頭山不動院龍泉寺

住 職 植 木 盛 雄 (高36回)
大田原市山の手2-9-2
TEL (0287) 22-2978
FAX (0287) 24-2371

(有)伊 藤 乳 業

明治牛乳販売所
大田原市末広1-3610
TEL 0287-22-2433
伊 藤 一 男(高11回)

天よじ

大田原市中央1-3-15
トコトコ大田原内
TEL 0287-22-4123
磯 四四雄(高12回)

総会・懇親会

日時：平成26(2014)年6月7日(土)
 場所：大田原温泉ホテル龍城苑
 参加者：車田会長以下役員・会員、植木校長以下教職員

昨年より6月の第一土曜日に固定された紫塚同窓会総会が、6月7日(土)大田原温泉・ホテル龍城苑で開催された。(出席者93名)

総会は、卒業40年目の年次役員が担当する慣例に従い、藤田昭彦氏(高26回)の司会で進められた。

総会に先立ち、栄典者に車田会長からお祝いの言葉と金一封が贈られた。出席された栄典者は、千保一夫氏(高13回)、福島泰夫氏(高21回)、薄井正裕氏(高27回)の3名で、栄典者を代表し千保一夫氏からお礼のことばがあった。

平成25年度事業報告、会計報告、平成26年度の事業計画、予算、十年会開催日変更、会報発行時期変更、代表常任理事に関する会則変更も原案通り承認された。役員改選も常任理事会推薦の通り承認された。

新役員(任期;平成26年総会から3年間)は次の通り。

【会長】増淵忠行(高16)新、【副会長】大島栄寿(高6)再、青木勲(高9)再、池嶋英哲(高20)新、伊藤和夫(高21)新、和泉卓哉(高22)新、福田富夫(高23)新、神島仁誓(高24)再、楨徳和(高24)新、【監事】菅谷正男(高21)新、後藤伸一(高32)新

報告事項では、奨学団が4月から公益財団紫塚奨学団としてスタートしたこと、さらには藤原林次郎さんから多額のご寄附があり「藤原奨学金」として運用されていることが紹介された。

最後に、旧役員を代表し車田会長のご挨拶の後、新役員を代表し増淵会長から退任される役員の方々にお礼のことばと、これからの抱負が述べられた。また新役員がそれぞれ挨拶し閉会となった。

総会後の懇親会は、斉藤博敏氏(高26回)の司会で、和やかに活気のある懇親会であった。



【栄典者】(左から千保氏・福島氏・薄井氏)



【新役員が挨拶】

◆◆平成25年度一般会計決算報告◆◆

○収入

前年度繰越	888,308	繰越金
入会金	2,390,000	入会終身会費
会費	635,000	会員終身会費
寄付金	140,000	寄付金
雑収入	687,420	会報広告費等
合計	4,740,728	

○支出

創立記念費	128,850	講師謝礼等
総会費	64,000	案内葉書等
十年会費	370,598	通信費等
会議費	7,520	常任理事会費
通信費	20,480	案内葉書等
会報	1,512,699	印刷・郵送費
卒業褒賞補助	100,000	証書ホルダー代
母校活動補助	600,000	無線機、楽器等
慶弔費	145,000	祝金・香典・餞別
支部会等補助	486,930	支部会への補助
旅費	212,190	交通費等
事務費	672	消耗品代等
雑費	14,890	郵便振替手数料
予備費	0	
合計	3,663,829	

◆◆平成25年度特別会計決算報告◆◆

収入額	20,462,038	繰越金、利息
支出額	0	
現在高	20,462,038	

◆◆日光杉並木保護基金◆◆

日光杉並木オーナー	10,000,000
-----------	------------

◆◆平成26年度事業計画◆◆
(前出の事業は除く)

10月31日(金) 同窓会報第39号発行
11月 新事業予定
1月下旬 第4回正副会長監事会
2月下旬 常任理事会
2月27日(金) 同窓会入会式(高67回)

◆◆平成26年度一般会計予算◆◆

○収入

前年度繰越	1,076,899	繰越金
入会金	2,350,000	入会終身会費
会費	450,000	会員終身会費
寄付金	100,000	寄付金
雑収入	323,101	会報広告費等
合計	4,300,000	

○支出

創立記念費	230,000	講師謝礼等
総会費	100,000	案内葉書等
十年会費	400,000	通信費等
会議費	30,000	常任理事会費
通信費	50,000	案内葉書等
会報	1,550,000	印刷・郵送費
卒業褒賞補助	100,000	証書ホルダー代
母校活動補助	600,000	
慶弔費	300,000	祝金・香典・餞別
支部会等補助	500,000	支部会への補助
旅費	250,000	交通費等
事務費	30,000	消耗品代等
雑費	50,000	郵便振替手数料
予備費	110,000	
合計	4,300,000	

◆◆叙勲・栄典者◆◆

- 平成25年度秋の叙勲
小倉 正敏氏(高11回): 旭日双光章
薄井 正裕氏(高27回): 藍綬褒章
- 平成26年度春の叙勲
千保 一夫氏(高13回): 旭日中綬章
君島 正三氏(高23回): 黄綬褒章
- 当選
福島 泰夫氏(高21回): 那珂川町長

◆◆平成26年度支部総会等◆◆

- 紫塚同窓会官城支部総会: 7月5日(土)
JALシティホテル
- 紫塚同窓会矢板支部総会: 5月31日(土)
矢板イースタンホテル
- 小川地区紫塚同窓会総会: 11月8日(土)
- 宇都宮紫塚同窓会総会: 未定
- 県庁紫塚同窓会総会: 8月8日(金)
ニューみくら
- 紫塚同窓東京会役員・幹事会: 7月26日(土)
品川プリンスホテル
- 紫塚同窓東京会総会: 11月9日(日)
品川プリンスホテル
- 近畿紫塚同窓会総会: 10月26日(日)
新都ホテル
- 紫塚同窓会ゴルフ大会会長杯: 10月18日(土)

カンタン・キレイ・色あせない
FUJICOLORデジカメプリント
写真のことなら何でも、
当店におまかせください。

カメラの山口

山口 紀之 (高36回)

大田原市山の手1-7-1
TEL 0287-23-4166



吉岡食品工業株式会社

乾燥唐辛子・塩漬唐辛子・葉唐辛子佃煮 製造

吉岡 博美 (高20回)
吉岡 航平 (高51回)
鈴木 恵太 (高51回)

本社 〒324-0051 栃木県大田原市山の手2-16-10
TEL 0287-23-5555/FAX 0287-23-5557

吉成小児科医院

医師 吉成 仁見 (高22回)

〒324-0055
栃木県大田原市新富町2-1-22
電話 (0287) 22-2412

各支部の活動

県庁紫塚同窓会

世話人 荒井 竜司(高42回)



【県庁紫塚同窓会参加者】

県庁に在職する大高OBで組織する本会は、今年度5人の新規採用職員を仲間に加え263名になりました。

本会では、退職により退会する会員と新規入庁により入会する会員数がほぼ同数で推移していることから、近年は260人前後の会員数を維持し、県庁内で一大勢力となっております。

8月8日に印南洋之会長(県土整備部次長・高27回)以下47名が参集し、平成26年度総会を開催しました。

冒頭、会長からは、本会をより一層盛り上げていくことが必要であり、そのためには、会員間での依頼や相談については最優先で取組むなど、会員相互のつながりを一層強固にしていくことが重要との挨拶がありました。

議事後の懇親会には、御多忙中にもかかわらず植木洋一校長先生や増淵忠行紫塚同窓会会長に御出席いただき、準決勝まで勝ち進んだ甲子園予選の様式や学区制廃止に対する取り組みなどの近況や同窓会の活動状況について御報告をいただきました。また、本会の顧問をお願いしている県議会議員の皆様などから大田原高校OBらしく、厳しくも暖かい熱のこもった御挨拶を頂戴しました。

懇親会の最後には、全員で肩を組み、『若き生命の感激は〜』で始まる校歌を三番まで全て熱唱し、会員相互の絆を深めました。

私たち本会の会員は、母校の校訓である「質素堅実」「独歩豊潤」「自由清新」を胸に、今後も県勢発展のため全力を尽くす所存であります。

結びに母校大高のますますの発展を祈念申し上げ、本会の近況報告とさせていただきます。

宇都宮紫塚同窓会

事務局長 笹 沼 収(高9回)

去る2月26日、宇都宮紫塚同窓会定例総会が市内のホテルで行われた。

当日は、学校側から齋藤教頭先生、在京同窓会から阿久津様がそれぞれ出席されました。

席上齋藤教頭先生から在校生の各分野における活躍ぶりが披露されました。総会終了後の懇親会では、近況を話しあって、久方ぶりの再会に話はずみでした。

当会の悩みは会員の高齢化がすすみ、若手会員の加入が喫緊の課題であります。

近畿紫塚会…千の風になって…

近畿紫塚会長 八木沢武雄(高10回)

今年は何と言っても残念だったのは前任者西岡尊氏を亡くしたことではないでしょうか。4月6日京都にて近畿紫塚会、千草会近畿支部の今年度の計画を相談したばかりだったのです。

ところがその2週間後に、この世を去ってしまったのです。しかし会の空白は許されないので、5月11日に緊急会議を開き役員を決めたのです。5月25日に西岡家に御線香を上げに参りました。奥様が神戸の方で御主人の交際範囲が不明で、なかなか連絡が取れずに遅れてしまったのです。

今年度は四国八十八カ所の巡礼は開創1200年の節目であり、参加の申し込みをしていた関係から、残る愛媛、香川の寺を回りご冥福を祈ったのであります。

真夏の奈良を避け、北海道の大沼公園へと行き17日間過ごしてきましたが、7月26日に大沼湖水祭りに参加。今回が105回目、灯籠を頼みましたが約2千個もあり探していると「千の風になって」の訳詩家新井満氏に会い一緒に灯籠流しをしたのであります。

その前後に大田原高校が作新学院に敗れた高校野球の情報が入り、がっくりとなりました。また青森県の「恐山」にも行き故人の面影を忍びまして、お花と線香を手向けて参りました。

何事も一生懸命に取り組んだ西岡先輩を見本に真剣に生きていきたいと念じております。

紫塚同窓東京会

東京会副会長 青木 義脩(高13回)

昨年11月9日(土)開催の第61回総会、懇親会では、大高応援団の一大演舞の披露があり、盛り上がることこの上なしといったところであった。東京は品川プリンスホテルの総会会場に橙色の大応援旗が入場した時は、さすが身の引き締まる思いであった(写真1)。応援団の生徒諸君、文武両道の大高らしく、凛々しく気高く、そして野武士の風格あり、演舞の中で古い校歌「旭光あまねき那須の大野」を披露した。先輩を重んじ伝統に生き



【大応援団旗（写真1）】

る若き生徒たちから勇気と感動を頂いた。総会はいつも大女高の同窓会千草会の東京支部の皆さんが駆けつけてくれる。いつまでも青春、大高と大女高。総会懇親会参加者120名。大田原市から津久井富雄市長、母校から寺内孝夫校長(当時)、本部同窓会から車田孝夫会長(同)が来賓として参列され、心温まる激励のお言葉を頂き、しばし故郷に心を馳せた。応援団の音頭による校歌斉唱ののち全員で記念撮影をした。写真家の大平実会員撮影(写真2)。

東京会が発足60周年を迎えたのは、平成24年であったが、これを記念し、記念誌『会員活動名簿』を刊行した。これには会員2500名の名簿が搭載されている。手頃の厚さで、歴史が振り返れるのと併せて活動に便利なハンドブックにもなる特徴を持ち、大変好評を得ている。

今年の「夏の役員との懇親会」は、7月26日(土)に開催したが、当日は、なんと、大高野球部が甲子園目指した準決勝に挑んだ日であった。本部からは磯仁先生が臨席され、大高の近況を話された。この日も役員を中心に60名の出席という盛り上がりを見せた。新人の参加が目立つのが近年の会合の特徴である。心強い。新規会員の掘り起こしを進めている。

郷里を思うことはひと時も忘れず、大田原及び那須塩原両市の市長の要望もあり、大田原応援隊、那須塩原応援隊にも力を入れており、健康第一、ゴルフも欠かさず盛り上げている。近況、斯くの如しである。ただ残念なことに、副会長兼事務局長の猪股秀章会員が若くして急逝された。

最後に、増淵忠行本部新会長のご活躍に期待し東京会の報告とさせていただく次第である。

紫塚同窓会矢板支部

事務局長 横塚 順一(高31回)

紫塚同窓会矢板支部は、平成17年1月に組織され、設立後9年が経過しました。

今年度は、5月31日(土)に市内のホテルに於いて定期総会を開催しましたので、その様子を報告いたします。



【参加者（写真2）】

植木洋一校長先生、車田孝夫紫塚同窓会会長、遠藤忠矢板市長をお招きして開催された総会では、平成25年度事業報告・決算報告に引き続き当支部の役員改選が行われ、新会長に斎藤洋氏(高14回)が選任されたほか、総勢18名の役員団が決定しました。

総会終了後、植木洋一校長先生より、「大高の伝統と現代の高校生」と題して特別講演が行われ、データを基にした高校生の現状や第29回85キロ強歩の結果などをご紹介いただき、現役大高生の様子を詳しく知ることができました。

その後の懇親会では、大先輩から20代の若手まで幅広い年代の会員が参加し、世代を超えて親交を深めました。懇親会終盤には若手会員有志による即席合唱団が校歌を高らかに歌い上げるなど、大盛況のなかでのお開きとなりました。

今のところは年1回の集まりではありますが、今後も会員同士の同窓の輪を広げて参りたいと思います。

紫塚同窓会宮城支部

事務局長 鈴木 哲(高26回)



【宮城支部総会参加者】

宮城支部は東日本大震災を契機として2012年に発足しました。永井(前)会長を中心に、相馬理事が丁寧な準備をしてくださり、発足後、2年目3年目とますます順調に進んできましたが、会員の参加者を増やすために、2年目は現役大学生を招待、同時に大田原女子校千草会にも声をかけ、3年目の今年の総会には千草会から守屋さんが出席されました。また植木校長先生、増淵同窓会会長、三本木先輩にもご臨席いただきまして、大変盛り上がりしました。

今年の大高卒業生にも声をかけたのですが、時期が遅くなり、来年は早く連絡して、現役大学生にも参加してもらえるように準備したいと思えます。

会員の現況報告では、旅行社勤務の松本さんが添乗した旅行でのハプニング等について、私が合唱活動について紹介しました。来年は大出(新)会長中心の新体制になりますが、温泉で開催してはどうか等の意見もあり、予定が決まっていないにも関わらず、大いに盛り上がっています。

母校の近況

寒稽古

日時：平成26(2014)年1月20日(月)
～1月24日(金)

○強歩と並ぶ伝統行事で、毎年センター試験明けの大寒の時期に5日間行われている。生徒会新聞とPTA会報から感想文を転載する。

寒稽古を終えて

1年4組 鈴木 瑠維

1月20日から5日間、私たち1年生は初めてとなる寒稽古があった。マラソン、柔道、剣道、弓道の中から、私はマラソンを選んだ。マラソンは楽なものだと思っていたが、全然そんなことはなかった。早起きすることは勿論のこと、毎日起きたばかりの状態でも長い距離を走らなければならない。これが想像以上にきつかった。しかし一緒に走る友だちのおかげで、一日も休まず最後まで走り切ることができた。そして最終日には豚汁を食べることができた。豚汁を食べて改めて寒稽古の達成感を味わうことができた。寒稽古は心身を鍛えられるよいものだった。

寒稽古支援を終えて

PTA西那須野支部長 稲垣 俊弘(高39回)

寒稽古の初日、まだ夜も明けない時刻に息子は家を出た。前日にはセンター試験があり、気を抜く時間もないまま寒稽古がスタートした。このような状況の中での寒稽古は、生徒たちにとってどのようなものなのだろうと思っていたが、寒稽古の納会で支援に行った際の生徒たちの姿を見て、私自身感じたことがあった。寒さに耐え頑張り抜く姿こそが、大高生の素晴らしさではないかということだった。私も30数年前に大高生として寒稽古に参加した。その時は「寒い、辛い」としか思わなかったが、親という立場になっての寒稽古は、3年間頑張り抜いた息子を見て初めて大高の伝統行事であり、意味のある行事なのだと感じた。私としては、この寒稽古の支援が最後の保護者支援となるが、このような素晴らしい大高の伝統を続けていってもらえたらと思う。

紫塚同窓会小川支部

小川支部長 川上 要一(高20回)

平成25年度小川支部総は昨年11月9日(土)、「みず乃」において開催されました。会員に加えて、同窓会からは小林副会長、学校からは斎藤教頭先生にお出でをいただき、心あたたまる時間をしばし過ごすことができました。南那須地区の同窓生のさらなる参加を願いたいものです。

第66回同窓会入会式

日時：平成26(2014)年2月28日(金)

会場：大高第一体育館

参加者：増淵副会長、生徒、教職員

○入会式終了後、同窓会係の先生から同窓会に関して、①第66回卒業生であること、②年次委員の役割、③主な支部の所在地、等について詳細な説明があった。

平成25年度卒業式

日時：平成26(2014)年3月3日(月)

会場：大高第一体育館

○平成25年度卒業式が厳粛かつ盛大に挙行された。寺内孝夫校長より卒業生代表櫻井篤史君に卒業証書が授与され、新たに235名が我が紫塚同窓会の会員として入会することになった。

○来賓祝辞の中で車田孝夫同窓会長は「今、世界は、嘗てない大きな変革の時代に直面している。卒業生の皆さんが、新しい時代の立役者として活躍される日もそう遠くはない。皆さんは今日までの学習を基礎として、なお一層、知識や経験を深め、社会の急激な変化に、柔軟かつ積極的に対応しうる主体的な行動力と豊かな創造力を養い、友愛と奉仕の精神に満ち溢れ、真理と正義が実現される時代の到来を目指して活躍されることを切に願う。」と饒の言葉を述べられた。また在校生代表の生徒会長木村和也君の「決して諦めることなく、困難を乗り越え素晴らしい人生を実現して下さい。」との送辞の言葉を受け、卒業生代表の萩原亮君が「私たちはこれからそれぞれの夢や目標に向かって歩きます。この先、多くの障害と闘うことになるでしょう。しかし、私たちには『質素堅実』の校訓のもとで培った強い精神力があります。この精神力を原動力にどんな困難にも勇敢に立ち向かっていきます。」と力強く誓った。

○新しく大田原高校を飛翔した後輩たちの卒業を心から祝福するとともに、今後の精進と活躍を大いに期待したい。

平成26年度入学式

日時:平成26(2014)年4月7日(月)

会場:大高第一体育館

- 平成26年度入学式が挙行された。天候にも恵まれ、新生活の始まりの一日として、この上ない素晴らしい日となった。
- まだ幼さが残る顔に、これから始まる新しい生活に対する希望に満ちた新入生240名は、受験を勝ち抜いた喜びと誇りとを胸に携え、入学者呼名の際には式場内に響き渡る清々しい声で返事をしていった。新しく本校に赴任した植木校長からの式辞では、本校の校訓である質素堅実についての話を下に、本校の庭を彩る数々の木のように、この3年間で大きく成長して欲しいという励ましの言葉をいただいた。
- 入学者宣誓では1年3組の後藤慧君が行い、大高生としての生活に誇りを持って臨むことをしっかりと口調で述べた。その後神島仁誓PTA会長の祝辞へと進行し、入学式は厳かな雰囲気の中無事行われた。

第29回85キロ強歩

日時:平成26(2014)年5月15日(木)
～5月16日(金)

- 強歩実施の日程を5月の第3週木・金に変えてから2年目。保護者や地域の皆さんの協力を得て無事に実施することができた。平日2日の支援は厳しいとの指摘があり、第26・27回強歩は金・土で実施したが、生徒がより参加しやすい日程を組むことを考慮し、第28回強歩から現在の木・金に変更した。(部活動の影響が最も少ない日程)
- 第27回強歩から「原点回帰」をスローガンに、保護者の方や地域の方にできるだけ負担をかけることなく、自分でできることは自分でやることを目標に掲げて実施している。



【強歩・いよいよ出発】



【強歩・感激のゴール】



【大高祭
中庭での応援団演舞】



【大高祭・吹奏楽部の演奏風景】

- さて今年の強歩だが、昨年同様、事前の天気予報では、問題なかった予報が直前になり悪化。夕方まで雨の可能性が高く、夜から次の日にかけては天気回復との予報。途中、雷の心配もあったが、延期も含めて慎重に協議し、実施の決断をした。雨対策を視野に入れて大丈夫と決断、9:45曇り空の中を出発。間もなく小雨がぱらつき始め、大田原陸上競技場付近から雨が降り始める。しかし昼食の農村改善センター付近では雨が上がり、気温もさほど上がることなく絶好の強歩日和となった。夕食をとる予定の箒根中では上空に雨雲が広がり始めてしまうのかという心配もあったが、雨雲は栃木県西部から南部の方に移動し北部はほとんど雨に降られることなく予定通りの行動ができた。その後も気温は上がり、箒根中学校までは例年になく隊列がまとまり順調に推移する。その後、見事に天気が回復し、星空の中(満月の月も見事でした)気持ちよく歩くことができた。夜中の黒磯北中学校(夜食場所)では、恒例のうどんとそばに舌鼓を打つ。昨年はかなり冷え込んで体育館を開放して休憩したが、今年は予定通り校庭で思い思いに休んでいた。
- 1日目の日中は曇り、夜は晴れ、2日目朝方から素晴らしい好天で、気温も歩行に最適の状態で行程を終えることができた。
- 参加生徒は693名、完歩者は651名。完歩率93.9%であり、29回を数える強歩の中で過去最高の完歩率であった。大高生の意気軒昂ぶりを遺憾なく発揮してくれたことである。一方毎年思うことであるが、残念ながら途中でやむなくリタイアになってしまった生徒を見ても、自分の体力や体調と真剣に向き合い取り組んでいる姿にはさすが大高生ということを感じた。それぞれに精一杯の取り組みが見られた。

第49回大高祭

日時:平成26(2014)年9月6日(土)

- 『男たちのお・も・て・な・し』のスローガンのもと、第49回大高祭が盛大に開催された。残暑の中ではあったが1600人を超える来場者があって、大いに盛り上がりを見せた。

母校にU字工事が来た!!

U字工事紹介

〇とちぎテレビで7月から9月末まで毎週木曜日(再放送は月曜日)に、13回にわたって『U字工事のShake-Hands! 大田原市民7万6千人と握手の旅!』という番組がオンエアされた。これは大田原市が市の魅力を広く発信する目的で、制作費を提供して作られた番組で、栃木テレビばかりでなく、群馬テレビ・テレビ埼玉・千葉テレビ・テレビ神奈川でも放送された。

〇ラジオ等で「U字工事」の名をつけた番組はあったそうだが、地上派テレビでは彼らにとっては初めての冠番組となった。2人が大田原市内の各所を巡って、そこでお世話になった方をはじめとする市民と握手をして、その方々に大田原市のゆるキャラ「与一くん」の絵柄の入った「一矢必中」ステッカーをプレゼントするという番組で、福田薫くん・益子卓郎くん(高49回)ともに大高出身であることから、大高をロケ場所とした番組が2回連続で放送された。

〇彼らが大高を訪問したのは6月20日(金)で、校長室・山岳部の部屋(益子くんは山岳部であった)・彼らが学んだ3年1組教室・教室棟階段・体育館等で撮影を行った。



〔山岳部員と記念撮影〕

母校の進路状況

平成25年度および過去4年間の大学合格状況

()内は過年度卒の内数

国公立大	25年	24年	23年	22年	21年	私立大	25年	24年	23年	22年	21年
東京	0	1(1)	1(1)	0	0	早稲田	9(2)	12(1)	11(2)	16(2)	11
京都	0	0	0	1(1)	1	慶應義塾	3(2)	6(2)	2	8(5)	4
東京工業	0	2	1(1)	1	2	上智	4(2)	3	1	4	4(1)
一橋	1	1(1)	0	1	0	国際基督教	0	1	0	1	0
大阪	0	1	0	1(1)	0	学習院	0	0	1	1	1
名古屋	1	2	2	1	0	明治	16(2)	21(3)	20(4)	27(3)	21(1)
東北	4	13	10(1)	12(2)	9	法政	23(3)	8(2)	13(2)	27(3)	7(1)
北海道	1	1	4(2)	4	2	立教	4(1)	4	6(1)	8(1)	4
九州	0	0	1(1)	0	0	中央	16(3)	16(3)	19(1)	18(2)	14(1)
東京外国語	0	0	0	1	0	青山学院	7	10	6	15	6
筑波	4(1)	3	2	2	1	東京理科大学	6	21(3)	22(2)	16(2)	26
千葉	3	6	5	4	4	関西	1	0	0	0	1
埼玉	11	9(1)	9	8	7(1)	関西学院	1	1	0	0	2
新潟	6	7(1)	10	9	6	同志社	2	2	0	0	2
金沢	2	0	0	0	1	立命館	5(1)	4	5	13(1)	10
横浜国立	0	0	3	3	0	芝浦工業	15(1)	18	11	14(1)	16
東京学芸	0	3	3(1)	4(1)	1(1)	日本	81(1)	50(3)	34(2)	49(5)	56(4)
東京農工	1	1	2	6	3	専修	16(2)	17(3)	7	13(1)	14(1)
電気通信	2(2)	8	2	3	1	東洋	13	12(1)	13(2)	16(1)	19(1)
静岡	1	0	3	4	1	駒沢	13(1)	9	11(1)	5	6
山形	3	6	7(1)	6(1)	3(1)	東海	24(1)	18	16(2)	13	17
茨城	9	2	12(1)	8	5(1)	国際医療福祉	15(2)	20(1)	25	12(1)	12(1)
宇都宮	13	10(1)	25	10(2)	15(1)	岡山県立	0	0	1	2	0
首都大東京	1	3	2	2	3	自治医科	0	0	0	0	1
現役前期合格者	90(BAG)	100(BAG)	90(BAG)	89	83	現役私立大計	384	362	360	363	348
現役後期合格者	107	113	114	109	108	現役私立大計	97	109	105	154	108

母校の部活動状況

H26年度 特別活動部の成績

平成26年4月～平成26年8月31日現

No.	部活動名	レベル	大会名	種目等	成績	学年	氏名
1	山岳部	県	全国高校総体県予選会	団体	優勝		
			関東高校総体山岳予選会	団体	優勝		
2	陸上競技部	県	県高校総体陸上競技	4x100mリレー	第6位	3年 小池 翔 3年 小野 竜輔 3年 矢野 真広 2年 佐々木 英人 2年 鈴木 理輔	
3	相撲部	県	県高校総体相撲大会	団体	第3位		
			重量級	第3位	2年 森 樹希哉		
			重量級	優勝	3年 川上 教也		
4	柔道部	県	関東高校総体柔道予選会	団体	第7位	3年 川上 教也	
5	剣道部	県	全国高校総体県予選会	団体	第3位	2年 池田 翔吾	
			個人	第3位			
6	ソフトテニス部	県	全国高校総体県予選会	団体	準優勝		
			個人	優勝	3年 阿部 峻		
			個人	第5位	3年 黒田 賢祐		
7	野球部	県	専修高校野球大会	優秀選手	3年	金城 達 杉原 経太 唐渡 良太	
			高校選手権大会県予選会	第3位			
			優秀選手	3年	金城 達 谷池 亮介		
8	水泳部	県	県高校総体水泳競技	男子総合	第3位		
			200mバタフライ	第2位	2年 生駒 晃太郎		
			100m背泳ぎ	第3位	2年 久光 哲也		
			1500m自由形	第3位	1年 久光 哲也		
			100m自由形	第3位	2年 生駒 晃太郎		
			200mバタフライ	第3位			
			400m自由形	第3位	1年 久光 哲也		
			200mバタフライ	優勝	2年 生駒 晃太郎		
			50m自由形	第3位			
			200m自由形	第3位	1年 久光 哲也		
			400m自由形	第3位			
9	囲碁部	県	全国高等囲碁選手権大会県予選	団体	優勝		
			個人	第3位	3年 藤田 隆宏		
10	応援団	県	総合体育大会開会式	行進	優秀校		
11	吹奏楽部	県	栃木県吹奏楽コンクール	B部門(30名以内)	金賞		

※山岳部は7年連続全国高校総体出場

No.	部活動名	大会名(開催地)	種目等	成績	学年	個人氏名
1	陸上部	関東高校陸上競技大会(神奈川県)	400m 三段跳び 4x100mリレー	出場	3年 小池 翔 3年 小野 竜輔 3年 矢野 真広 2年 佐々木 英人 2年 鈴木 理輔	
		関東陸上競技選手権大会(神奈川県)	3000mBC(障害) 5000mW(障害) 円盤投げ	出場	3年 小泉 友輝 2年 土屋 優 2年 黒田 隼斗	
2	柔道部	関東高校柔道大会(千葉県)	団体	出場		
3	相撲部	関東高校相撲大会(群馬)	個人(重量級)	5位	3年 川上 教也	
4	剣道部	関東高校剣道大会(群馬)	団体	出場		
5	ソフトテニス部	関東高校ソフトテニス大会(栃木)	個人	出場	3年 阿部 峻 2年 黒田 賢祐 2年 花巻 敬也 2年 家井 知也	
		関東ソフトテニス選手権大会(神奈川県)	個人	出場	3年 阿部 峻 3年 黒田 賢祐 2年 花巻 敬也 2年 家井 知也	
6	水泳部	関東選手権水泳競技大会(千葉県)	400mリレー 800mリレー 400mメドレー 50m自由形 100m平泳ぎ 100-200m平泳ぎ 100m背泳ぎ 200mバタフライ 400m自由形 1500m自由形 200mバタフライ	出場	3年 添田 慶 2年 稲田 知果 3年 生駒 晃太郎 1年 久光 哲也 1年 原 愛理	
7	吹奏楽部	関東吹奏楽コンクール(茨城)	B部門(30名以内)	6月13日		
全国大会出場部						
No.	部活動名	大会名(開催地)	種目	成績	学年	氏名
1	山岳部	全国高校登山大会(神奈川県)	団体	第7位		
2	ソフトテニス部	全日本高校ソフトテニス選手権大会(千葉県)	個人	出場	3年	阿部 峻 黒田 賢祐
3	囲碁部	全国高校囲碁選手権大会(東京)	団体	出場		
		個人	出場		3年	藤田 隆宏
		全国高校総合文化祭	個人	出場		

紫塚奨学団報告

奨学団係 川又 勝寿

- 本紫塚奨学団は、公益法人制度改革により、公益法人化を目指してまいりましたが、平成26年4月1日付けで、公益財団法人紫塚奨学団として認可されました。ご協力を賜りました方々に深く御礼を申し上げます。
- これまで長きにわたり当財団にご尽力いただきました多くの方々に、心より御礼を申し上げます。今後も新役員のもと、更なる財団の発展を目指してまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。
- 現在の事業内容は、奨学金の貸与と優良生徒の顕彰であります。奨学金は大学入学時に、一括で50万円を貸与しています。25年度は3名に貸与しました。顕彰は、奨学団賞として、優良生徒1名に懐中時計を、3ヵ年皆勤者にネクタイピンを贈っています。
- 公益財団法人となって、今後は更なる事業の充実を視野に入れ、将来、社会に有益な人材の育成に力を入れていく所存であります。同窓生の皆様には、従来より奨学団へのご支援をいただいておりますが、今後ともなお一層のご理解とご支援をいただければ幸いです。

◆公益財団法人紫塚奨学団役員◆

- 理事 車田孝夫 寺内孝夫 篠崎勝則
(9名) 平山亮二 池嶋英哲 伊藤和夫
森島堅二 福田富夫 川又勝寿
- 評議員 大島栄寿 渡辺光男 井上成紀
(11名) 荒川捷彦 鈴木卓雄 佐藤 貴
杉本 広 片柳 洋 岡野繁雄
神島仁誓 飯島秀人
- 監事 印南 隆 高橋知寿

◆(財)紫塚奨学団平成25年度事業報告◆

1 事業

- (1)奨学金貸与 大学生3名 一括50万
- (2)奨学団賞

- ①顕彰者:櫻井篤史…賞状と記念品(金時計)
- ②3ヵ年皆勤(60名)…記念品(ネクタイピン)

2 寄付金に関する事項(25.4.1~26.1.31)

・大島佳男(前職員)様	31,000円
・井上成紀(現評議員・高12回)様	30,000円
・大林茂俊(高23回)様	50,000円
・井上成紀(現評議員・高12回)様	30,000円
・篠崎勝則(現評議員・高14回)様	30,000円
・平成25年度卒業生	235,000円
合計	<u>406,000円</u>

十善山雲照寺

住職 草野 知 明 (高20回)

那須塩原市三区町659番地
TEL 36-0824
FAX 36-3753

中国料理 応竜

田代 誠 一 (高18回)
田代 尚 之 (高47回)

大田原市城山2-2-12 (消防署近く)
☎0287-22-2801 (代) FAX 23-8383

すき焼き・しゃぶしゃぶ・とんかつ

岡 繁

大小宴会承ります (料理3,000より)

岡野 繁 雄 (高23回)

大田原市山の手1-3-9
TEL 0287-22-2474
FAX 0287-22-2718

司法書士法人 片柳事務所

【悩みごと相談室】開設しました

代表社員 片柳 洋 (高22回)
司法書士
社員 伊藤 憲 司 (高39回)
司法書士

〒329-2711
栃木県那須塩原市石林224番地6
(大田原西那須野街道一本松ぼっぼ通り沿)
TEL0287-37-5500 FAX0287-36-8672

内科・小児科

鎌田浅香医院

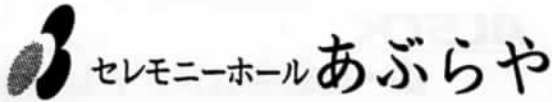
鎌田 美樹雄 (高24回)

〒324-0043
大田原市浅香3-3-9
TEL 0287-22-2703

藤田山円光寺

住職 神島 仁誓 (高24回)

〒329-2755
那須塩原市西原町4-5
TEL 0287-36-0476
FAX 0287-36-2965



セレモニーホールあぶらや

有限会社 油屋商店

吉川 恵 造 (高7回)
吉川 秀 之 (高34回)

〒324-0051 栃木県大田原市山の手1丁目1番22号
(本店) TEL 0287-22-2219 FAX 0287-23-7863
(ホール) TEL 0287-24-2411 FAX 0287-24-2412

各種印刷
飯村印刷

飯村 忠雄 (中42回)
飯村 通 (高28回)

TEL 0287-22-2016(代)
FAX 0287-23-4055

日本整形外科学会専門医
医療法人 阿久津整形外科

(リウマチ科・
リハビリテーション科)

院長 阿久津 政司 (高37回)

〒329-2727

栃木県那須塩原市永田町3-16
(西那須野駅前)

TEL 0287 (36) 3639(代)

EMGマーケティング合同会社
代理店

(有) 浅井 礦 油

代表取締役 浅井 元
(高29回)

〒324-0057

栃木県大田原市住吉町1-14-20

TEL 0287 (23) 3366(代)

宇都宮紫塚同窓会

会長 青木 勲 (高9回)

事務局 〒320-0833

宇都宮市不動前1-3-14

北関東総合警備保障(株)内

TEL 028-639-0308

FAX 028-638-8396

池島酒造株式会社
那須の美酒
代表取締役
池嶋 英 哲 (高20回)
池嶋 佑 介 (高52回)
〒324-0036
大田原市下石上1227
TEL 0287 (29) 0011
題字 長嶋 石 城 (高8回)

建築家からの提案「人と環境にやさしい建物」

有限会社 和 泉 設 計

代表取締役 和 泉 卓 哉 (高22回)

〒329-2703 栃木県那須塩原市機沢322番地9

TEL 0287-37-4871

FAX 0287-37-4872

<http://www.izumi-architects.com/>



井上眼科

院長 井上 順 (高44回)
医学博士
日本眼科学会認定眼科専門医

〒244-0812 横浜市戸塚区柏尾町1016-2
TEL 045-822-2520

inoue 井上眼科医院

理事長 井上 成 紀 (高12回)

院長 井上 直 紀 (高43回)

〒324-0051 大田原市山の手1-2-11

☎ 0287-22-2514

潮田賢治法律事務所

弁護士 潮 田 賢 治 (高25回)

〒324-0042

大田原市末広1-1-32 三浦ビル2F

TEL 0287-20-1254

FAX 0287-20-1256



O. A. P. E.

ISO-9001・ISO-14001 認証取得

総合設備業

大橋総設工業株式会社

代表取締役 大 橋 保 (高29回)

〒324-0057 栃木県大田原市住吉町2丁目4番24号

TEL:0287-23-3100(代) FAX:0287-23-3102

安心、安全、美味



那須野ポーク 代表取締役 金澤 駿一 (高11回)

〒325-0052 那須塩原市中央町本店 TEL 0287 (63) 4129
FAX 0287 (63) 8161
弥生町支店 TEL 0287 (63) 5673
<http://www.nikunokanazawa.com>

ALSOX
ホームセキュリティα

北関東総合警備保障(株)

代表取締役社長 青木 勲 (高9回)
常務取締役 笹沼 収 (高9回)

本社：宇都宮市不動前1-3-14
TEL：028-639-0301

第79回総会

近畿紫塚会

平成26年度総会は10月26日(日) 新都ホテル

会長 八木沢 武雄(高10回)

連絡先 〒614-8262
京都府八幡市岩田松原7
松木 守夫(高20回)
TEL 090-2105-2396

友

久島労務管理事務所

社会保険労務士 行政書士 久島 正 (高20回)

〒329-2754
栃木県那須塩原市西大和3-41
電話 0287-36-9911(代)
FAX 0287-36-8550

車田 医院

車田 孝夫 (高3回卒)
車田 宏之 (高32回卒)

栃木県大田原市大豆田457-24
電話 0287 (54) 0062

各種自動車販売・民間車検・石油類販売

(有)小浦モータース

小浦 道夫(高27回)
小浦 敏夫(高31回)

本社 大田原市佐久山2208番地
佐久山SS TEL 0287 (28) 0016
実取SS TEL 0287 (28) 0480
車検センター TEL 0287 (36) 5338

IK

小林内科外科医院

小林 伸久(高33回)

〒324-0028
大田原市富士見1-1606-265
TEL 0287-23-8870

三九会

(さんきゅうかい) (高16回)

東京：親睦会 2月
大田原：定例会 3月9日
ゴルフ会：9月3日

藤田宏和 電話 0287-29-0902
岡本之良 電話 048-442-4364

ビジネスホテルアジサイ
BUSINESS HOTEL AJISAI

株式会社 関商事

代表取締役 関 幸一 (高22回)

〒329-2763
栃木県那須塩原市井口532-7
TEL 0287-36-8181 FAX 0287-36-4141

社会保険労務士法人

ソウマ・高根事務所

社会保険労務士 相馬 誠一 (高3回)

〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町2-105
ワテラスアネックス1210号
TEL 03-3251-5141

(株)田中建築事務所

一級建築士 日本建築家協会会員
代表取締役社長 阿久津 賢次 (高16回)

本社
〒108-0074
東京都港区高輪2-16-45 高輪中山ビル
TEL 03-5420-2431 FAX 03-5420-2461

宗教法人

大田山光真寺

住職 黒田 泰弘 (高35回)

〒324-0051 栃木県大田原市山の手2-11-14
TEL (0287) 22-2033

塩原文綱

湯守田中屋

〒329-2921 栃木県那須塩原市塩原 6
TEL 0287-32-3232 FAX 0287-32-2989
<http://www.tnky.jp>

NASU
 株式会社 **NASU設計**
 代表取締役 篠崎勝則(高14回)
 一級建築士
 本社 〒324-0005
 栃木県大田原市練貫364番地67
 TEL. 0287-23-7861
 FAX. 0287-23-7819
 E-mail nasuarc@gaea.ocn.ne.jp

郷土の発展と共に、一世紀 since 1884
 総合建設業

那須土木株式会社
 本社/栃木県大田原市中央1丁目13番10号
 TEL 0287(23)5678代FAX 0287(23)0355
 URL <http://www.nasudokk.co.jp>
 代表取締役 玉木 茂(高20回)
 取締役総務部長 宇山 洋一(高19回)
 住宅事業部住宅営業課長代理 山村 保彦(高26回)
 総務課 長 桑名 和久(高37回)
 総務主任 郡司 康雄(高45回)
 住宅事業部住宅営業課長 矢吹 博司(高46回)
 取締役 玉木 勇介(高52回)

NISHIDA **西田整形外科医院**
 整形外科・リハビリテーション科
 整形外科専門医
 院長 西田 三郎(高30回)
 大田原女子高校そば
 〒324-0053
 栃木県大田原市元町1丁目9-18
 TEL 0287-20-3100



ORTHOPAEDIC

医療法人社団 **亮仁会**
那須中央病院
 理事長 白井 亮平(中38回)
 〒324-0036 栃木県大田原市下石上1453番地
 TEL 0287-29-2121 FAX 0287-29-2501
 E-mail:nasuchuoh@mtg.biglobe.ne.jp

奈良スポーツ
NARA SPORTS
(株)奈良スポーツ
 代表取締役 奈良靖久(高12回)
 大田原市紫塚2-2609-97
 TEL 0287-22-2670
<http://www.narasp.com>



タイル工事・石工事・住宅リフォーム・太陽光発電システム

ハシモ株式会社
 HASIMO
 代表取締役社長 橋本 徹(高32回)
 益子 範明(高32回) 荒牧 量(高32回)
 山崎 洋(高33回) 橋本 悟(高41回)
 渡辺 毅(高45回) 藤田 秀之(高56回)
 本社/大田原市南金丸2000 TEL 0287-24/0010代
 東京営業所/北区赤羽台 東北営業所/仙台市泉区
<http://www.hasimo.co.jp>


医療法人 博友会


原眼科医院
 HARA EYE CLINIC
 院長 原 裕(高20回)
 〒324-0042
 大田原市末広1丁目5番27号
 (大田原市農協ヨコ)
 TEL 0287(24)0011

季節の上生菓子
伏見屋菓子店
 伏見 功一(高1回)
 伏見 雅志(高30回)
 〒324-0053
 TEL 0287-23-2438
 FAX 0287-24-2438

寿司・幕の内・割烹仕出し
 有限会社 **まえむろ**
 代表取締役 渡辺 繁治
 (高19回)
 TEL 0287(22)6849

きれいな写真は、
ミハル写真館
 〒324-0051
 大田原市山の手2-6-33
 TEL0287(22)2566
 (消防署前)

 **住んでよし**
 心ゆたかな 大田原
有限会社 藤田材木店
 栃木県大田原市美原3丁目3266-1
 TEL 0287(22)2617
 代表取締役 藤田 昭彦(高26回)
 常務取締役 藤田 晋輔(高54回)



介護用品のレンタル・販売
(株)まつや薬局
 松本 寿広(高20回) 松本 隆史(高45回) 松本 智史(高48回)
 ■処方せん調剤 クスリのご相談、介護のご相談お気軽にどうぞ
 ■介護用品全般 保険調剤薬局 ☎(0287)22-2502(代)
 大田原市城山1丁目5-31 FAX兼(0287)23-2501

お知らせ

母校支援のご寄付を!!

- すでにこれまで会報や総会・常任理事会等でお知らせしておりますが、同窓会の財政が逼迫しており、十分な母校支援等に支障をきたしております。
- 多くの方からのご援助をいただければと思っております。よろしくお願ひします。お振り込みは下記口座に。

郵便振込

口座名：栃木県立大田原高等学校内
紫塚同窓会

口座記号番号：00340-0-1748

※お振り込みいただく際には、

- ①ご芳名②卒業年次③電話番号をご記載ください。

紫塚同総会 ホームページ

- URL <http://www.muradou.sakura.ne.jp>
- お問い合わせ、ご意見等はEメールにて
daiko1@mudou.sakura.ne.jp

紫塚同総会 facebook

- 紫塚同窓会のホームページからリンクできます。
- どなたでも発信し、どなたでも受信できるのがfacebookの利点です。
- 同窓会の広報担当を中心として、これまで以上にタイムリーに発信してまいりますので、皆さまのご協力をお願いします。

大切なお知らせ

- 同窓会の予算支出のなかで大きなウェイトを占めているのが、これまで総会や常任理事会でも議論されてきた会報の輸送費です。そして次のような提案がなされて進めていくことになりましたので、お知らせいたします。
- 紙ベースの会報の輸送費を抑えるために、紙ベースの会報を従来通り希望するのか、それともホームページで閲覧するから紙ベースの会報は不要かを、この会報を送付する際に伺うことになりました。
- ついては、紙ベースの会報を従来通り希望する方は、同封した葉書に必要事項を記載してご返送ください。なお、切手代はおそれいりますが、お支払ください。
- 紙ベースの会報が不要な方は、葉書のご返送は必要ありません。
- 以上、お手数をおかけしますが、よろしくお察してください。

編集後記

○六月の総会で役員が改選され、前述の如く増淵会長以下、新執行部陣容が整いました。任務分担も決まって、新役員一同、母校や同総会の発展のために、会員相互の親睦推進に寄与すべく動き出したところです。

○また、これまで同窓会役員としてご尽力いただきました車田前会長はじめ旧役員の方々に、改めて御礼を申し上げます。お疲れさまでしたご苦労さまでした。

○これまで会報を担当してこられた増淵さん(前副会長、現会長)にかわって会報の編集にあたりましたが、会報発行時期の変更、会報そのものの変更縦書きから横書きへ、内容の見直し等もあって、思うようなものからはほど遠い会報となってしまいました。

○次号以降、会員の皆さんのお声をお聞きしながら改善していきたいと思っておりますので、ご意見をお聞かせください。



会報担当：神島仁誓(高24回)